

移動金融店舗車のお知らせ

8月 運行日時



運行場所	運行時間	運行日
旧宮野目店舗	9:30~11:00	8/7(金)、8/20(木)、8/31(月)
旧太田店舗	13:00~14:30	8/7(金)、8/20(木)、8/31(月)
旧みなみ店舗	9:00~10:30	8/11(火)、8/21(金)
旧さくら店舗	11:00~12:30	8/11(火)、8/21(金)
旧二子店舗	14:00~15:30	8/11(火)、8/21(金)
旧岩崎店舗	10:00~11:30	8/12(水)、8/24(月)
旧横川目店舗	13:00~14:30	8/12(水)、8/24(月)
旧湯田店舗	10:00~11:30	8/3(月)、8/13(木)、8/25(火)
旧沢内店舗	13:00~14:30	8/3(月)、8/13(木)、8/25(火)
旧上郷店舗	10:00~11:30	8/4(火)、8/17(月)、8/26(水)
旧宮守店舗	13:00~14:30	8/4(火)、8/17(月)、8/26(水)
旧鷯住居店舗	11:00~12:30	8/5(水)、8/18(火)、8/27(木)

※旧店舗のATMは今まで通りお取り扱い可能です。

●お問い合わせ 金融部本店営業課 ☎ 0198-23-0984



がんばる 青年部

実りの秋に期待“コメ” 小学生に「バケツ稲づくり」を指導

北上地域青年部さくら支部は6月1日、北上市立立花小学校(同市立花)で5年生16人に「バケツ稲づくり」の指導をしました。

この活動は、同校が総合学習の一環として取り組み、同支部による指導は昨年から行っています。同日は、昆野勇夫支部長や昆野宏紀副支部長、菅野健志さんなどが同校を訪問。盟友たちの指導のもと、児童たちは土に肥料を入れて混ぜた後、「ひとめばれ」の苗3本~4本をバケツの中央に植えて



昆野支部長(右)から植え方を習う児童たち

水を入れました。昆野支部長は、水量と虫がいないかのチェックを毎日するよう呼び掛けました。

児童たちからは、稲の長さや収穫量、品種による味の違い、収穫後の作業内容などの質問が上がりました。盟友たちは丁寧に答え、児童たちは一生懸命にメモを取って学びました。



丁寧に苗を植える児童

初めて苗を手作業で植えた阿部葉夏さんは「肥料を土と混ぜる作業が大変だった。米づくりの作業を知ることができて良かった」と話しました。昆野支部長は「普段食べているお米がどのように作られているか理解してもらえれば、農家としてうれしい」と話しました。

ぼらーの 広場

ぼらーの広場は、読者の皆さまとの交流の場です。皆さまからテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ

〇〇始めました & 始めたい

投稿を頂いた方の中から抽選で、今月は

あせみち 夏野菜詰め合わせをプレゼント!

40年近く看護師の仕事をしてきました。これからは、以前から大好きな草花を相手にした仕事をしてみたいです! (花巻市・ごごみ)

某ラジオ局から流れる体操を始めました。「岩手県民の歌」のメロディーに乗って私も体を動かしています! (花巻市・あ〜ちゃん)

今回、思い切って服の「断捨離」を始めました。今後は、食器などの断捨離も始めようと思っています。(北上市・ミント)

家の周りの庭や畑の草花を花瓶に生けて、トイレに飾っています。最近、メモ用紙に花の名前と花言葉を書いて添えています。(北上市・K.Y)

腕立て伏せを始めました。背骨がポキッと音がすると気持ちいいです。お腹に筋力がついてほしいです。(北上市・都わすれ)

旬の野菜が一番! ということで、「産直めぐり」を始めました。これからの季節、おいしい旬の野菜が楽しみです。(北上市・ライちゃん)

来月のテーマ(9月号掲載)「我が家の家庭料理」応募締切/8月7日(金)消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。

あなたの家の家庭料理は何ですか?エピソードと共に教えてください。

応募方法: ①テーマにちなんだお話し②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③ペンネーム④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにてご応募ください。右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき: 〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画課「ぼらーの広場」宛

●メール: polano@jahanamaki.or.jp ●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント!

のむね甘酒ヨーグルト (150ml×12本)



JAいわて花巻 応募フォーム

https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php

世界の課題「食料安全保障」 JJAと農業

世界の課題「食料安全保障」

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「飢餓をゼロに」を目標の一つに掲げました。このことに象徴されるように、命に直結する食料で人々が困ることがないようにする食料安全保障は、世界に共通する課題です。

日本は食料の多くを海外から輸入しています。そのため、世界的な人口増加による食料需要の増大や、気候変動による生産減少などが国内の食料供給に影響を及ぼす可能性があり、国民の不安も高まっています。

将来にわたって食料を安定的に確保していくには、国内の農業振興を通じて食料自給率を高める必要があります。JAグループは、自己改革の目標の一つとして「農業生産の拡大」を掲げ、その実現に向けて営農・経済事業の強化に従来以上に力を入れています。また、農業振興を地域全体で後押しするために、准組合員等の地域農業の応援団化にも取り組んでいます。

語句解説

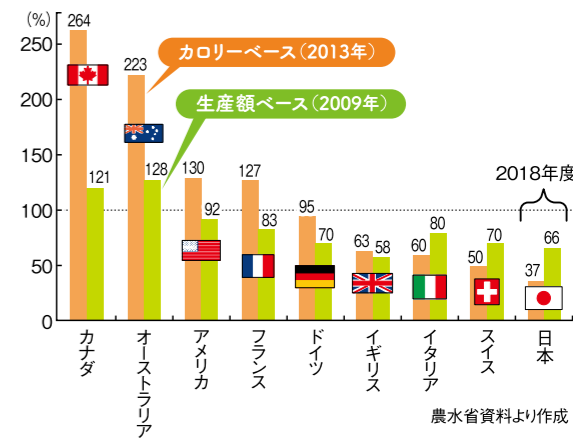
【食料自給率】(しょくりょうじきりつ)

食料自給率は「国内の食料消費が、国産でどの程度賄えているか」を示す指標。わが国の食料自給率は2018年度、カロリーベースで37%(前年度から1ポイント減)の過去最低となりました。これは主要先進国の中でも最低水準です。生産基盤も弱体化しており、直近5年間をみると耕地面積は毎年2.3万ヘクタールずつ減り、農業就業人口は約59万人減少しています。

食料安全保障とは

全ての人がいかなる時にも、活動的で、健康的な生活に必要な生活上のニーズと嗜好(しこう)を満たすために、十分に安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的および経済的にも入手可能であるときに達成される状況。~国連食糧農業機関(FAO)ほか~

主要先進国の食料自給率



農水省資料より作成 耕そう、大地と地域の未来。